

# 復興 竹灯籠で願う



境内に竹灯籠を並べる学生たち

## 益城、きょう 大学生ら催し

崇城大芸術学部デザイン学科の学生たちが、31日夜から1月1日にかけて益城町の木山神宮で開かれるイベント「みやあかり」の準備に取り組んでいる。

木山神宮は熊本地震で神殿や拜殿が倒壊し、今も再建されていない。みやあかりは復興を願うイベントで、学生は自分たちでデザインした大小の竹灯籠約120本に火をともしす。

みやあかりは、昨年末に同町の地域おこしグループ「益城ほりおこし隊」が始めた。原史紘さん(19)ら同学科の学生は今年10月頃、「たくさんの人に来てもらい、心の復興につなげたい」とするイベントの趣旨に賛同。協力を申し出た。

学生たちは竹灯籠のデザインから作製までを担当し、町の花である「梅」の花の形にくりぬくなど一本一本に復興の願いを込めた。30日は境内に竹灯籠を並べた。

原さんは「益城町を応援しているという気持ちで伝わればうれしい」と話している。